

斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業

このまちで「つくる暮らし」

～暮らしの道具・小物編～

令和2年度活動報告

2021.07.08

つくる暮らしの会

# 「つくる暮らし」とは

欲しいものを買うばかりの生活ではなく、  
自然や地域の恵みを活かしたり、  
捨てられているものや古いものを活かして、  
暮らしに必要なさまざまなものを自分でつくる暮らし

その土地に暮らす感覚  
地に足がついた  
暮らしの感覚

また、このような暮らしを実現させるために、  
自分で考え、何かを生み出そうとする精神や行動力

# 「つくる暮らしの会」とは

- 昔は日常にあった「つくる暮らし」を、  
子育て世代、働く世代のフィルターを通して、  
現代の暮らしの中で実践。共感の輪を広める目的
- 斑鳩の自然や歴史の中で暮らす素晴らしさを実感することができる、古くて新しいライフスタイルの提案

# 活動内容

残念なことに、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度は4月の緊急事態宣言発令とともにスタートしました。そのため、予定していたイベント開催や、メンバー同士の定例会をはじめとする交流さえ大きく制限を受けることになり、十分な活動が行えませんでした。

そのような状況下で、限られた範囲ではありますが、下記2つの活動を実施しました。

1. 情報発信

2. イベント開催

# 1

## 情報発信

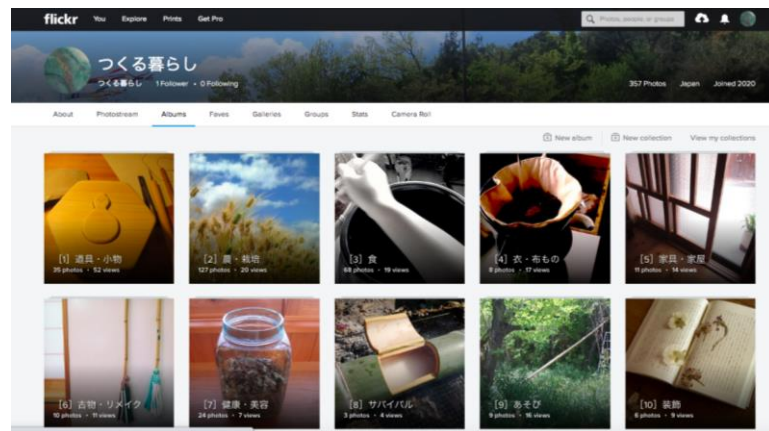
- Web上で「つくる暮らし」の記録を発信。
- flickrにて写真公開、noteにて記事投稿、HP開設等。

### ▼ ツール



flicker  
フリッカー

写真の共有を目的とした  
コミュニティーサイト  
(SNS)



<https://www.flickr.com/photos/187720951@N05/albums>



Flickrにて、約500枚写真公開

# 1

## 情報発信

### ▼WEB記事投稿

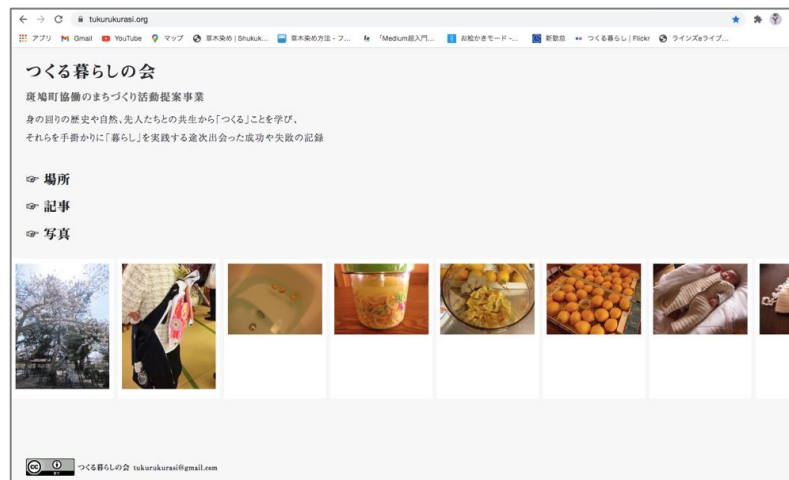


記事を投稿  
できるメ  
ディアプ  
ラツ  
トフォー  
ム

<https://note.com/tukurukurasi/n/n8cfe6f7ea941>

### ▼HP開設

<https://tukurukurasi.org>



# 2

## イベント 開催

- 12月12日開催の「斑鳩プレイパーク」にて草木染めブースを出展。参加者約30名。
- 子ども達を対象に、ビワの枝葉をつかったハンカチの草木染め体験を実施。

### ▼当日の様子





# 事業の実施効果

- イベントを「斑鳩プレイパーク」とコラボ開催したことにより、子どもに身近な自然を暮らしに取り入れる体験をしてもらうことが出来たほか、子育て世代の町民の方に、会の存在を知っていただく機会となりました。
- 3月末現在、flickr：延32,600view、note：延447viewの閲覧数となっており、特に写真（flickr）については多くの方に見ていただけたと思われています。これらのweb活動等を通して、活動の記録が蓄積されたことにより、会の活動に興味を持っていた奈良県建築士会より来年度以降のコラボのお声かけがありました。
- 活動記録のweb等による発信を続けることで、様々な団体・個人との繋がりを増やしていくことが期待でき、今後の活動の広がりの可能性を感じました。

# 課題

- より効果的な情報発信のあり方（届けたい人に届ける方法）
- 町民や他団体とのつながりをどう構築していくか（web以外のつながりの機会・場所づくり）
- コロナ禍ゆえに活動を広げにくい半面、コロナ禍だからこそ地元暮らしをより豊かにする本活動の意義も大きいように思う。制限のある中で、どのように活動を継続・拡大させていくか。

# 担当課との連携内容

1. 広報活動
2. イベント時の活動記録補助（写真撮影）

# 担当課からのコメント

まちづくりをすすめるうえで「ひと」の育成は欠かすことができません。また、当町の美しい環境と景観は財産であり、その財産を次世代に引き継ぎ、郷土愛を育てていくことは重要であると感じております。

他団体とコラボしながらイベントを開催され、web等を活用し、斑鳩の暮らしの魅力を広く発信されたことは、世代構成やライフスタイルの変化、地域のつながりの希薄化などの生活課題を抱えるなか、住民の皆さんに斑鳩町への郷土愛と誇りを育てていただくきっかけになったと考えます。

コロナ禍における活動の制限がある中、「コロナ禍だからこそ」と活動の意義を見出されたつくる暮らしの会様には、ポストコロナの時代を迎えた際には、更なる活動の発展を期待しています。引き続き、当町と協働で事業を実施していただきますようお願いいたします。